

事務事業チェックシート

事務事業No 48 事業名 鉄道駅等旅客施設のバリアフリー化推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	1	コンパクトシティの実現
施策	2	公共交通体系の充実
取組方針	2	利便性の向上

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	交通政策課	鯨 年志	435-1016
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		交通政策費	
	大事業		交通政策事業	
中事業		鉄道駅等旅客施設のバリアフリー化推進事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 鉄道駅におけるバリアフリー化設備の整備を行い、鉄道の利用促進を図る。		全体事業概要 事業者が行う鉄道駅のバリアフリー化事業に対し、国、県とともに補助を行う。			
	事業内容	平成27年度 事業者へ働きかけ JR和歌山駅バリアフリー化	平成28年度 事業者へ働きかけ	平成29年度 事業者へ働きかけ	平成30年度 事業者へ働きかけ 紀三井寺駅、宮前駅のバリアフリー化に向けた事業者との協議	平成31年度 事業者へ働きかけ 紀三井寺駅、宮前駅のバリアフリー化に向けた事業者との協議

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	15,000	10,918	0	0	0	0	0		0	
伸び率(%)	-	-	▲100.0%	▲100.0%	-	-	-	-	-	-
人件費	正規職員	3,215	3,355	2,876	2,952	2,974	3,033	3,542		
	正規職員以外									
	小計	3,215	3,355	2,876	2,952	2,974	3,033	3,542		
国庫支出金										
県支出金	7,500	5,459								
市債										
その他										
一般財源(税等)	7,500	5,459	0	0	0	0	0		0	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.44	0.38	0.37	0.37	0.38	0.44		
	正規職員以外									
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
補助実施駅	駅	駅	目標値	1	0	0	0	0
			実績値	1	0	0		
			達成度(%)	100.0%	0.0%	0.0%		
バリアフリー化駅数(利用者数3,000人/日以上)	駅	駅	目標値	1	0	0	0	0
			実績値	1	0	0		
			達成度(%)	100.0%	0.0%	0.0%		
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公共交通を利用するあらゆる人が、快適に利便よく利用できる環境を整備する必要があり、エレベータ・スロープの設置等の整備に対し、支援を行うことでバリアフリー化の推進につながり、快適な移動環境を提供することができる。
見直し・改善内容	JR紀三井寺駅のバリアフリー化について、早期に整備を行うよう事業者に働きかけた。